昭和32年8月24日第三種郵便物認可

とかち新聞

主筆 松山明

（発行所）北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話135番

定価 1部20円 1カ月50円 1カ年前納500円

交換の議決はご破算に

問題の役場敷地 高橋氏が町に買収を要求

足寄町議会

臨時第三回の足寄町議会は八月十一日午前十時一分にひらかれ、小林町長からつぎのような行政報告がありました。

小林町長 第三回の臨時議会を招集した主な理由は四日の降雨で落橋したトメルベシベ橋の災害復旧工事のほか斗伏橋の復旧、監査委員の選任などで、その前に現在までの主な報告をしたい、第一点は山村振興法の指定の段階に入り道、支庁の指導を頂き八月末までに素資料を作製して知事の申請で承認となる、事業は昭和四十四年から四カ年で一億二千万円となるがその後も十カ年を通じて種々の事業が優先しておこなわれる、町づくりの十カ年計画を北大教授に依頼しているのとたまたまピッタリしておりこれとからめてすすめたい、第二点は役場庁舎の敷地問題で、六月の定例議会で各位から質問を頂いたが従来の点から庄内沢の百一町歩の町有林との交換で終止符をうちたく七月三日に高橋安蔵氏にお会いして話しをした、その内容は第一に高橋氏は一日も早く解決して交換に応じたいがその内容、方法としては現在の時点においてそれぞれの財産を評価してもらいたい、そして差額を頂戴したい、これからは直接の交渉はさけて札幌市の海老名弁護士と交渉してほしいとのことであった、その後海老名弁護士が多忙のため八月一日に札幌でお会いした、海老名弁護士は内容的に交換の議決を検討したが議決は有効でなく無効であるとの基本的な点に立っており、昭和三十一年十二月十日の議会に提案のさい高橋氏自身が議長として退席しなかった点直ちに引き渡すとの契約が今日まで実行できなかった点で、内容的に議決は無効であるとの点に立って交換は考えられない、で破算であるとのことで、解決の方法は敷地は買収を願いたいと示された、具体的なことは一応近傍類似の価格として郵便局舎の例を話されてそれを基礎として考えており、この点私は六月の議会の経過を申し上げ議会におはかりして交渉をすすめることにして海老名氏との会見をおわった、議決無効の点を調査したが議長がかかわっていても可否同数の場合でないかぎりは最高裁の判例より無効ではない、契約の議決を経ていないので難しいがどうだというものがない、私どもとしては交換によって解決したい、議員のみなさんの考え方、判断によってゆきたい

この報告にたいして

鳴海議員 六月の答弁では三十一年の議決、高橋氏の答弁どおりに解決したいとの基本的な考え方にいまも変りはないというが、話し合いを何回やっても併行線である、どうするか方策をききたい

小林町長 非常に難しく困難性があるが、高橋氏自身の意見が決め手で七月三日には交換に応ずるが再評価で交換といいながら海老名弁護士は議決は無効だから契約解除の通告を出すつもりだったとのことで困難である、法的に有効か無効か、果して勝てるか負けるか充分に自信をもって申し上げる時点でない、従来の考え方ですすめたいが町と町民との訴訟や裁判はさけたい、他のかわる方法として借地として処理するか長期間で買収するなどが考えられるが議会においても充分に判断をお願いしたい

鳴海議員 この問題は町長と本人とは絶対に相反するから話し合いでは解決しない、法的にやる気はない、具体的に近傍類似の価格は郵便局の例では四千五百万円、庄内沢は五百万円くらいといわれ差額が出るのをやるか、法的に無効というが再提案すれば有効となる、町長は公約は一日も早く解決すると約束した、他人の土地はまずい、農地に建築もまずい、どうするか

小林町長 合併当時の最大問題であり委員をあげ打衝した記録もあり当時の高橋氏は先代の財産を減らしたくないとの考えで金銭でなく他の土地との交換を主張されたが経過を考え適当な人に入って頂いてなんとか交換取消しをさけるよう努力してゆきたい

鳴海議員 議会が議決して執行されなかった理由は前町長にある、しようと思えばできた、弁護士を依頼したというが町長と膝を交えてゆくのが正当で、議会として責任上放っておけない

吉田議員 当時の議決が無効というが高橋氏が議長として交換を認めた事実はハッキリしている、話し合いで解決つけばよいが現実には本人が認めていない、法的に研究して約束どおりに実行するようにすべきだ

（以下第二面へ）

○…真夏の足寄町議会ではまたしても連続ドラマ「役場庁舎物語」のお粗末。

○…十二年前に『稲荷神社を追い出して金もうけをしたといわれたくない、親が残した土地をなくしたくないから替りの土地をほしい金では絶対に応じられない』という高橋安蔵氏の希望によって自らが議長席にあって役場敷地一千五百坪と町有林百一町歩との交換を決めたのがこのドラマの発端。

○…高橋氏が承知して建てたのは仮りのバラックではなく鉄筋重ブロックの役場庁舎で、いうならば足寄町の〝お城〟。

○…その後議決どおりに交換のできなかった最大の理由は高橋氏が町長になったので自治法の制限をうけたためで町の責任ではないから高橋氏が町長だった本年春までは常に『町長をやめたら速やかに議決どおりに交換を実行する』という報告ぶりに業を煮やした形の報告によれば、こんどは手のひらを返したように土地ではなく金で解決どおりに交換を実行するようにすべきだ

全町民に対して無理難題？

○…ところがこの日の小林町長の報告によれば、こんどは手のひらを返したように土地ではなく金で解決どおりに交換を実行するようにすべきだ

○…監査委員には足寄町農協参事の坂口隆氏を提案したが、坂口氏は議会選出の神本監査委員と血縁関係にある上に同じ農協内の多忙な管理職であるのに理事会はもちろん組合長にも相談のない人事であり、多額の町費助成をうける農協からの監査委員は不適当との声で議案の撤回は新町長の初黒星。

○…高橋氏が承知して建てたのは仮りのバラックではなく鉄筋重ブロックの役場庁舎で、いうならば足寄町の〝お城〟。

○…その後議決どおりに交換のできなかった最大の理由は高橋氏が町長になったので自治法の制限をうけたためで町の責任ではないから高橋氏が町長だった本年春までは常に『町長をやめたら速やかに議決どおりに交換を実行する』という報告ぶりに業を煮やした形の

○…とところがこの日の小林町長の報告によれば、こんどは手のひらを返したように土地ではなく金で解決どおりに交換を実行するようにすべきだ

○…監査委員には足寄町農協参事の坂口隆氏を提案したが、坂口氏は議会選出の神本監査委員と血縁関係にある上に同じ農協内の多忙な管理職であるのに理事会はもちろん組合長にも相談のない人事であり、多額の町費助成をうける農協からの監査委員は不適当との声で議案の撤回は新町長の初黒星。

○…高橋氏が承知して建てたのは仮りのバラックではなく鉄筋重ブロックの役場庁舎で、いうならば足寄町の〝お城〟。

○…その後議決どおりに交換のできなかった最大の理由は高橋氏が町長になったので自治法の制限をうけたためで町の責任ではないから高橋氏が町長だった本年春までは常に『町長をやめたら速やかに議決どおりに交換を実行する』という報告ぶりに業を煮やした形の

○…とところがこの日の小林町長の報告によれば、こんどは手のひらを返したように土地ではなく金で解決どおりに交換を実行するようにすべきだ

○…監査委員には足寄町農協参事の坂口隆氏を提案したが、坂口氏は議会選出の神本監査委員と血縁関係にある上に同じ農協内の多忙な管理職であるのに理事会はもちろん組合長にも相談のない人事であり、多額の町費助成をうける農協からの監査委員は不適当との声で議案の撤回は新町長の初黒星。

暑中お見舞申し上げます

八ミリ カメラ 写真材料

上野カメラ堂

上野復興

足寄駅通り T420

暑中お見舞申し上げます

本別町

町長 水元孝夫
助役 渡辺利春
収入役 佐藤佐太郎
総務課長 佐渡三郎
税務課長 門脇恭助
産業課長 横川関次郎
施設課長 千葉昭三
厚生課長 森吉郎
管財課長 中野敏博
勇足支所長 吉田貫一
仙美里支所長 目黒治助

足寄町

町長 小林弘道
助役 沼田一
収入役 加藤芳弘
総務課長 富田秋雄
開発計画課長 小泉鶴夫
産業課長 谷忠光
社会課長 喜多一男
税務課長 大塚達夫
建設課長 松平京
林務課長 原守郎
水道課長 丸谷彰
住民相談室長 杉本太
芽登支所長 村田光雄
ラワン出張所長 森金一

陸別町

町長 千葉俊一
助役 佐々木春志
収入役 池田宗一
総務課長 荒木秀夫
産業課長 峰田正四
民生課長 坂井一
税務課長 金崎正也
施設課長 北野外吉
開発課長 江下広

足寄町議会

議長 大滝弥助
副議長 斉藤昇
総務委員長 宮口政雄
同副委員長 多田梅松
同 委員 大原茂
久保田庄太郎
大野耕太郎
産業委員長 吉田吉之助
同副委員長 斉藤祐一
同 委員 山内義雄
遠山謙
神本三也
青木収
王塚義雄
文教委員長 鳴海一郎
同副委員長 香川博彦
同 委員 加藤伊三郎
伊藤義夫
我妻茂治
福本義輝
建設委員長 矢野寛一
同副委員長 新沼芳雄
同 委員 大久保繁
佐々木政一
多田坂栄
阿部俊夫
事務局長 木村重雄

陸別町議会

議長 国安専次
副議長 寺尾政一
総務委員長 佐々木茂雄
同副委員長 渡辺平吉
同 委員 難波重好
桜井淳吉
産業委員長 松合国雄
同副委員長 鈴木定一
同 委員 赤川周一郎
矢舘正信
西村秀盛
新藤万亀雄
建設委員長 佐々木茂雄
同副委員長 宮古秀
同 委員 鹿野竹男
林保治
大橋幸一
鎌上金治
事務局長 桧森敬二郎

本別町教育委員会

委員長 城浦勝
委員長代理 土蔵勇
委員 中島吉人
同 石山美子
教育長 水野平八郎
同次長 佐竹良男

足寄町教育委員会

委員長 藤村与作
委員長代理 三宅隆義
委員 新津幸助
同 大野剛
教育長 清水清作
同次長 岡靖

陸別町教育委員会

委員長 平林英祐
委員長代理 岡田秀雄
委員 半谷徳重
同 金沢エイ
教育長 徳光孝夫
教育次長 大橋雷雄

本別町農業委員会

会長 牧田庄二
会長代理 阿保二光
事務局長 渡辺利春

足寄町農業委員会

会長 湯浅義雄
会長代理 斉藤祐一
事務局長 川音正義

陸別町農業委員会

会長 和田忠司
会長代理 松合国雄
事務局長 久弥田芳郎

足寄町消防本部

消防長 岡崎光三
同次長 斉藤恒次郎
予防係長 野中笠雄
機械係長 田中秀男